

令和5年度 一宮小学校 総括評価表 ③

自 己 評 価			学校関係者評価	次年度への課題と		
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	学校関係者の意見	今後の改善方策		
早寝・早起の習慣や運動習慣・基礎体力が身に付いていない児童がいる。	<p>Ⅲ) 健やかな体の育成</p> <p>① 運動習慣の定着や学校体育を充実し、体力や運動能力の向上に努める。</p> <p>② 早寝・早起き・朝ごはんの習慣の定着を図る。</p> <p>③ 保護者や地域との連携を大切にし、食育や健康に関する学習を充実させる。</p>	<p>評価指標</p> <p>①-1 児童・保護者アンケート「しっかり運動している」の達成率85%以上</p> <p>①-2 高学年の体操・水泳・陸上等の大会や業間かけ足等の練習日数を80日以上行う。高学年の体操・水泳・陸上等の大会への練習参加率75%以上</p> <p>①-3 体力テストによる2年生以上の体力合計の評価がC以上の割合が50%以上</p> <hr/> <p>②-1 児童・保護者・教職員アンケートによる「早寝・早起き」の達成率70%以上</p> <p>「朝ごはん」の達成率85%以上</p> <p>②-2 長期休業日前の生活習慣チェックでの目標達成率70%以上</p> <p>③-1 食育・健康に関する学習を学期に1回は行う。</p> <p>③-2 むし歯(う歯)の者の割合が県平均以下(令和3年度20.4%)</p>	<p>評価指標による達成度</p> <p>①-1 児童86%、保護者83%となり、児童は指標を上回ったが、保護者は指標を下回った。</p> <p>①-2 新型コロナウイルス5類移行初年度の為、日数を調整して76日実施。体操・水泳・陸上等の大会への練習参加率は94%となり、指標を上回った。</p> <p>①-3 体力テストによる2年生以上の体力合計の評価が、C以上の割合が84%となり、指標を上回った。</p> <hr/> <p>②-1 「早寝早起き」では、児童72%、保護者57%、教職員67%で、児童は指標を上回ったが、保護者と教職員は指標を下回った。「朝ごはん」については、児童86%、保護者89%となり、児童と保護者は指標を上回った。</p> <p>②-2 冬休み前の生活習慣チェックでは、早寝早起きの達成率は60%であった。朝ごはんの達成率は80%であった。</p> <p>③-1 各学年とも、特別活動や体育科、家庭科、給食の時間等を通して、食育・健康に関する学習を1回以上行うことができた。</p> <p>③-2 一宮小学校のむし歯(う歯)保有児童の割合は33%で県平均(20%)を上回っていた。</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定)</p> <p>B</p> <p>(所見)</p> <p>重点目標①については、授業の中で各学年体力向上を図った。高学年は、積極的に体操・水泳・陸上等の大会へ参加していた。体力テストでは、指標を上回ることができた。保護者に対して、体育でどのような取り組みをしているかが明確になっていないことが、今後の課題である。</p> <p>重点目標②については、「早寝・早起き」の生活習慣の改善が感じられるように、家庭と連携した取組をしていきたい。</p> <p>重点目標③について、様々な教育活動において学年に応じた食育・健康に関する学習が進められた。</p>	<p>コロナ禍以前に行われていた児童の体育的活動が戻ってきているようで、安心した。</p> <p>① 早寝早起き、朝ごはんの習慣については、本来家庭ですべき内容である。しかし現在の社会状況から考えると、必要な内容であろう。学校と家庭での連携をさらに深めてほしい。</p> <p>② 基本的な生活習慣の育成について、今後も家庭と連携して力を入れて取り組んでほしい。</p> <p>早寝早起きやむし歯での課題がある中でのBであるが、その他は、十分達成できている。家庭と連携に、今後期待する。</p>	<p>① 全校児童で体力向上を図っていけるような活動を、放課後や業間休みに多く取り入れていく。</p> <p>① 学年に関係なく、体力測定の数値向上や正しい体の動かし方につながるような運動を体育の導入で行う。</p> <p>② 規則正しい生活習慣を定着させるために、学校全体で連携して啓発活動を行う。その際には、運動やメディアの利用など生活習慣に影響する事柄も踏まえる。</p> <p>② 長期休業前に生活習慣チェックを行い、その結果や課題を周知することで、児童・保護者・教職員が共通の課題意識をもって取り組むことができるようにする。</p> <p>③ 全校統一した給食(食育)の指導方法や内容について共通理解を図る。</p> <p>③ フッ素うがいを再開させる必要がある。</p> <p>③ むし歯保有児童の割合は県平均より高く、全国歯磨き大会への参加を継続したり、歯科衛生士による歯磨き教室の開催を再開したりしていく必要がある。ほけんだより等を通じて保護者への啓発を行っていく。また、夏休み前の個人懇談時に再度通知し、歯科二次受診率を高くする必要がある。</p>
		<p>活動計画</p> <p>①-1 1年間を通して体育の導入等で体力づくりを実施するなど、運動する機会を増やし、運動しようとする意欲や体力の向上を図る。</p> <p>①-2 外遊びや体操・水泳・陸上等の大会を奨励し、運動の習慣づけをはかる。</p> <p>①-3 運動の苦手な児童が、運動しやすい環境を整えるために、児童同士による話し合いの場を設けたり、授業の目標を児童の実態に合わせて示したりする。</p> <hr/> <p>②-1 保健だよりでの啓発を通して、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化と家庭との連携を図る。</p> <p>②-2 長期休業前に生活習慣をチェックさせ、早寝・早起き・朝ごはんの習慣化を図る。</p> <hr/> <p>③-1 食育や健康に関する学習の成果を家庭へ知らせる、学習内容が家庭でも生かせるように努め、学習内容を家庭に知らせ、連携を図る。</p> <p>③-2 むし歯の早期治療のための家庭への啓発活動を行う。フッ化物洗口を週1回行う。</p>	<p>活動計画の実施状況</p> <p>①-1 新型コロナウイルス5類移行初年度のため、日数を調整しているが、授業の導入などで体力向上を図る活動を各学年で取り入れている。</p> <p>①-2 多くの児童が外遊びや体操・水泳・陸上等の大会へ向けて練習する機会を得ることができた。</p> <p>①-3 各学年で授業の目標を明確に示したり、児童の実態に合わせて活動の場を工夫したりすることで、振り返りの時間を確保することができた。</p> <hr/> <p>②-1 保健だよりで「朝ごはん」をテーマに取りあげ、朝ごはんを食べるメリットや、自分で用意することができるメニューなどを児童や保護者に発信した。</p> <p>②-2 長期休業前に生活習慣振り返りシートを配付し、課題把握や目標設定の場を設け、1週間の取組を実施した。シートは持ち帰りコメントをもらうなど、家庭との連携を図った。</p> <hr/> <p>③-1 保健だよりや学年だよりを通して、食育や健康に関する学習に関する内容を家庭へ知らせることができた。</p> <p>③-2 むし歯の早期治療のため家庭へ保健だよりや歯の健康診断結果の通知を出した。むし歯予防のためのフッ素うがいは、新型コロナ5類移行後も再開の見通しが立たず未実施。</p>			

「総合評価」における「評定」の基準 A：十分達成できた、 B：概ね達成できた、 C：達成できなかった